

5 達成目標一覧

項目		単位	5年前 (H14)	現状値 (H19)	目標値 (H24)	備考
第1節 地球環境の保全	1 地球温暖化対策					
	県内の温室効果ガス総排出量	千t -CO ₂	18,574	17,661 (H17)	14,383	県内の温室効果ガス排出量－県内の森林吸収量 [H2(1990)年度比△ 6%を目標に設定]
	環境マネジメントシステムの認証登録件数	件	131	583	750	県内事業所の「ISO14001」・「エコアクション21」の認証・登録件数の合計 [これまでの登録件数の動向をもとに設定]
	県の業務における温室効果ガス排出量	t	—	90,869	79,536 (H22)	[H16 年度比△ 10%以上を目標に設定] ※ H23 年度以降の目標値は、次期率先実行計画の策定に合わせて検討予定
	新築住宅の次世代省エネ基準達成率	%	—	26.5	50	新築住宅に占める次世代省エネ基準達成住宅の割合 [国の住生活基本計画を参考に設定]
	間伐面積	ha	53,654 (H10～ H14)	80,336 (H15～ H19)	113,400 (H20～ H24)	信州の森林(もり)づくりアクションプランによる。
	森林の里親受入市町村数	市町村	—	22	40	森林(もり)の里親(企業等からの協力)を受け入れて森林整備を進める市町村数
	民有林の素材生産量	千m ³	137	195	213	県内の民有林で生産される丸太の量 森林づくり指針による。
	高性能林業機械の台数	台	65	124	163	県内で導入される高性能林業機械の数 森林づくり指針による。
	住宅用太陽光発電施設の設置件数	件	4,816	12,287	22,000	「都道府県別住宅用太陽光発電システム導入状況」の対象施設累計 [毎年 10%(前年導入量比)増加を目標]
2 オゾン層保護・酸性雨対策						
オゾン層破壊物質の大気中濃度モニタリング回数	回/年	—	—	12	県内大気環境における HCFC 等オゾン層破壊物質の観測回数[月毎の観測による現況把握]	
第2節 生活環境の保全	1 水環境の保全					
	河川環境基準達成率	%	93.2	97.2	97.2	主要河川 71 地点の環境基準(BOD)達成地点数の割合(基準達成地点数/水質常時監視地点数)
	湖沼環境基準達成率	%	35.7	35.7	57.1	主要湖沼 14 湖沼の環境基準(COD)達成湖沼数の割合(基準達成湖沼数/水質常時監視湖沼数)
	地下水環境基準達成率	%	92.5	91.5	95.0	環境基準達成地点数/概況調査地点数 第 4 次水環境保全総合計画による。
	水道水源保全地区	箇所	39	40	42	水環境保全条例に基づく指定区域数(年度末累計) 第 4 次水環境保全総合計画による。
	水稲直播栽培面積	ha	237	464	800	水田に直接種をまき、施肥量を削減する栽培方法の面積 食と農業農村振興計画による。
	化学肥料の使用量	kg/ha	90	89	54	長野県内の耕地 1ha あたりに使用される化学肥料(窒素成分)の量 食と農業農村振興計画による。
	化学合成農薬の使用量	kg/ha	100	79	70	長野県内の耕地 1ha あたりに使用される化学合成農薬の量 食と農業農村振興計画による。
	家畜排せつ物処理の施設化率	%	61.3	88.0	88.5	家畜排せつ物法に基づく適正処理を、たい肥化施設で行う割合 食と農業農村振興計画による。
	農地・水・環境保全向上対策の活動取組組織数(営農活動)	組織	—	12	36 (H23)	先進的な環境負荷低減への取組を行う団体数 食と農業農村振興計画による。
	水辺環境整備(多自然川づくり)延長	km	124.6	130.6	136.0	一定の計画規模以上の河川改修が完成した河川のうち、生態系または親水性に配慮した改修を行った河川延長累計
	水生生物調査(せせらぎサイエンス)の実施団体	団体	—	27	50	県内の水辺における「せせらぎサイエンス」の実施団体数 第 4 次水環境保全総合計画による。
污水处理人口普及率	%	81.3	93.1	97.2	下水道等の普及状況 [エリアマップ 2005 をもとに設定]	

項目		単位	5年前 (H14)	現状値 (H19)	目標値 (H24)	備考
第2節 生活環境の保全	2 大気環境等の保全					
	自動車騒音環境基準達成率	%	83.8	85 (H18)	90.0	道路に面する地域の環境基準達成率
	大気環境基準達成率（光化学オキシダントを除く）	%	98.4	100.0	100.0	光化学オキシダントを除く大気環境基準の達成状況
	昼間の光化学オキシダント環境基準値達成率（時間）	%	95.9	94.6	96.0	日最高値の年平均値が環境基準以下であること
	3 有害化学物質による環境リスクの低減					
	水質ダイオキシン類環境基準達成率	%	100	100	100	河川・湖沼のダイオキシン類環境基準達成率
	大気ダイオキシン類環境基準達成率	%	100	100	100	一般大気環境や廃棄物焼却施設周辺大気の大気ダイオキシン類環境基準達成率
	有害大気汚染物質環境基準達成率	%	83.3	100	100	一般大気環境や沿道大気の本ゼン等有害大気汚染物質の環境基準達成率
	土壌・底質ダイオキシン類環境基準達成率	%	100	100	100	土壌や河川・湖沼の水底のダイオキシン類環境基準達成率
	5 質の高い生活環境づくり					
	住民の合意形成によるまちづくり地区数	地区	42	54	75	住民自らが建築協定等の一定の制限を設けた地区数 長野県住生活基本計画による。
	景観行政団体市町村数	市町村	-	4	15	景観行政を自ら担う市町村数 [市町村の意向調査結果をもとに設定]
	景観育成住民協定認定数	件	137	159	170	長野県景観条例に基づく認定件数
	国・県指定等文化財の件数	件	754 (H13)	1,056	1,100	国又は県が指定・登録した文化財件数の累計
	第3節 自然環境の保全	1 多様な自然環境の保全				
希少野生動植物保護回復事業による計画策定数		種	0	4	10	長野県希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物保護回復事業による計画策定数
2 自然との豊かなふれあいの確保						
山小屋トイレの改善率		%	61.9	67.4	80.0	トイレのある山小屋数に対して、し尿処理施設の整備済みの割合
自然観察会等への参加者数		人	-	2,904	3,625	学校等で開催される観察会等への参加者数
自然観察インストラクターの派遣		回	-	80	145	県から学校等へ派遣されるインストラクター数
環境保全研究所の自然ふれあい講座等受講者数		人	191	368	400	環境保全研究所が開催する自然ふれあい講座や公開セミナーなどの受講者数
3 森林や農山村の多面的機能の発揮による里地・里山の保全						
間伐面積		ha	53,654 (H10~ H14)	80,336 (H15~ H19)	113,400 (H20~ H24)	信州の森林(もり)づくりアクションプランによる。 〈再掲〉
森林の里親受入市町村数		市町村	-	22	40	森林(もり)の里親(企業等からの協力)を受け入れて森林整備を進める市町村数 〈再掲〉
民有林の素材生産量	千m ³	137	195	213	県内の民有林で生産される丸太の量 〈再掲〉	
高性能林業機械の台数	台	65	124	163	県内で導入される高性能林業機械の数 〈再掲〉	

項目		単位	5年前 (H14)	現状値 (H19)	目標値 (H24)	備考
第3節 自然環境の保全	ニホンジカの生息数	頭	3万2千 (H13)	6万2千 (H18)	3万1千 (H22)	特定鳥獣保護管理計画及び長野県野生鳥獣被害対策基本方針による。
	環境にやさしい農産物等認証面積	ha	1,068	1,014	1,800	地域の一般的な栽培と比較して化学肥料等を30%以上削減して生産された農作物面積 食と農業農村振興計画による。
	エコファーマー認定人数	人	182	3,549	5,000	販売農家に占めるエコファーマー認定数 食と農業農村振興計画による。 [全国平均を上回る目標を設定]
	生態系や景観に配慮した水路の整備延長	km	-	18 (H14~18 年度累計)	20 (H20~24 年度累計)	生態系や景観に配慮して整備された農業用排水路延長 食と農業農村振興計画による。
	農地・水・環境保全向上対策の活動取組組織数(共同活動)	組織	-	266	340 (H23)	食と農業農村振興計画による。
	遊休農地の解消面積	ha	-	134	2,930 (H23)	市町村が策定する「遊休農地解消計画」の農業的利用による解消面積 食と農業農村振興計画による。
1 廃棄物の発生抑制、再資源化の推進						
第4節 資源循環型社会の構築	産業廃棄物総排出量	千t	3,253 (H10)	3,585 (H16)	3,611 (H22)	産業廃棄物実態調査(農業系廃棄物、砂利洗淨汚泥を除く。) [H10 年度比+ 11%を目標に設定]
	産業廃棄物最終処分量	%	7.6 (H10)	2.6 (H16)	2.0 (H22)	産業廃棄物実態調査の総排出量における最終処分量の割合 [過去の最終処分量の動向をもとに設定]
	一般廃棄物総排出量	t	831,450	777,255 (H18)	696,000 (H22)	市町村処理量+自家処理量 [H9 年度比△ 6%を目標に設定]
	一般廃棄物リサイクル率	%	21.7	23.8 (H18)	30.0 (H22)	(資源化量+ 集団回収量)/(市町村処理量+ 集団回収量) [過去のリサイクル率の動向をもとに設定]
	公共下水道汚泥の有効利用率	%	90	99	100	有効利用量(脱水汚泥換算)/発生時汚泥量(脱水汚泥換算) [発生汚泥全量の有効利用を図る]
	建設副産物(アスファルト・コンクリート塊)の再利用率	%	99.2	97.3 (H17)	100	工事現場から排出される特定建設資材廃棄物の再資源化等される割合 長野県建設リサイクル推進指針による。
	建設副産物(コンクリート塊)の再利用率	%	96.9	97.5 (H17)	100	工事現場から排出される特定建設資材廃棄物の再資源化等される割合 長野県建設リサイクル推進指針による。
	家畜排せつ物処理の施設化率	%	61.3	88.0	88.5	家畜排せつ物法に基づく適正処理を、たい肥化施設で行う割合 <再掲>
2 廃棄物の適正処理の確保						
	優良性評価制度評価基準適合事業者数	社	-	9	50	「遵法性」、「情報公開」、「環境保全への取り組み」の全項目に適合した認定企業数 [年間10件の増加を目標に設定]
1 県民総参加による環境保全活動の推進						
第5節 参加と連携	こどもエコクラブ登録数	クラブ	81	77	120	環境省に登録を行ったこどもエコクラブの数 [H18 年度比 10%増加を目標に設定]
	自然観察会等への参加者数	人	-	2,904	3,625	学校等で開催される観察会等への参加者数 <再掲>
	自然観察インストラクターの派遣	回	-	80	145	県から学校等へ派遣されるインストラクター数 <再掲>
	環境保全研究所の自然ふれあい講座等受講者数	人	191	368	400	環境保全研究所が開催する自然ふれあい講座や公開セミナーなどの受講者数 <再掲>

項目		単位	5年前 (H14)	現状値 (H19)	目標値 (H24)	備考	
第5節 参加と連携	森林の里親受入市町村数	市町村	—	22	40	森林(もり)の里親(企業等からの協力)を受け入れて森林整備を進める市町村数 <再掲>	
	都市農村交流人口	人	151,573	531,161	540,000	都市農村交流活動に参加した人数 食と農業農村振興計画による。 [約5%増加を目標に設定]	
	県の業務における温室効果ガス 排出量	t	—	90,869	79,536 (H22)	[H16 年度比△ 10%以上を目標に設定] <再掲>	
	2 環境と経済の好循環の創出						
	環境マネジメントシステムの認証 登録件数	件	131	583	750	県内事業所の「ISO14001」・「エコアクション 2.1」の認証・登録件数の合計 <再掲>	
	エコファーマー認定人数	人	182	3,549	5,000	販売農家に占めるエコファーマー認定数 <再掲>	
	水稻直播栽培面積	ha	237	464	800	水田に直接種をまき、施肥量を削減する栽培 方法の面積 <再掲>	
	化学肥料の使用量	kg/ha	90	89	54	長野県内の耕地 1ha あたりで使用される化学 肥料(窒素成分)の量 <再掲>	
	化学合成農薬の使用量	kg/ha	100	79	70	長野県内の耕地 1ha あたりで使用される化学 合成農薬の量 <再掲>	
	家畜排泄物処理の施設化率	%	61.3	88.0	88.5	家畜排せつ物法に基づく適正処理を、たい肥 化施設で行う割合 <再掲>	
	農地・水・環境保全向上対策の 活動取組組織数(営農活動)	組織	—	12	36 (H23)	先進的な環境負荷低減への取組を行う団体 数 <再掲>	
	環境にやさしい農産物等認証面積	ha	1,068	1,014	1,800	地域の一般的な栽培と比較して化学肥料等 を30%以上削減して生産された農作物 面積<再掲>	
	建設副産物(アスファルト・コン クリート塊)の再利用率	%	99.2	97.3 (H17)	100	工事現場から排出される特定建設資材廃 棄物の再資源化等される割合 <再掲>	
	建設副産物(コンクリート塊) の再利用率	%	96.9	97.5 (H17)	100	工事現場から排出される特定建設資材廃 棄物の再資源化等される割合 <再掲>	
信州エコ泊覧会登録宿泊施設 数	施設	—	115	400 以上	観光立県長野再興計画による。		
共通の基盤的施策							
第6節	環境保全に関する行政課題に対 応した調査研究の推進	A~E 5段階	—	B 以上	B 以上	外部評価における総合評価	
	環境保全研究所の自然ふれあ い講座等受講者数	人	191	368	400	環境保全研究所が開催する自然ふれあ い講座や公開セミナーなどの受講者数 <再掲>	